

第63回国民体育大会北海道予選会
平成20年8月17日(日) 江別市民体育館

【成年男子決勝】

札幌選抜 72－67 旭川選抜

1P 26－12 2P 14－10

3P 20－19 4P 12－26

札幌は⑤⑥⑧⑩⑫、旭川は④⑥⑦⑭⑯のメンバーで、マンツーマンでゲームがスタートした。

1P、札幌選抜の激しいディフェンスにシュートが決まらない旭川選抜に対して、札幌選抜は⑤佐藤の3Pシュートや⑬大友の速い攻撃からファールをもらい、フリースローで得点した札幌が26－12とリード。

2P、開始早々、旭川選抜④義達が4つ目のファールにより交代。札幌選抜⑤佐藤のゴール下などで更に点差を広げて40－22と大きくリードして終了。

3P、旭川選抜⑪宮腰、⑨込山の3Pシュートで、残り6分で10点差まで追いつくが、札幌選抜はオフェンスリバウンドを頑張り、⑫村上⑩寿崎のゴール下からのシュートで、60－41と点差を戻して終了。

4P、オフェンスリバウンドを頑張るもシュートが決まらなくなった札幌選抜に対して、旭川選抜⑥大西⑨込山のシュートが決まり、残り2分で9点差、残り1分には4点差とするも、札幌選抜⑤佐藤の連続シュートで72－67と札幌選抜がからくも逃げ切り勝利した。旭川選抜は前半にポイントガードの④義達を欠き、更に大きくリードされたことが最後まで影響した結果となった。

【道バスケ協会 強化普及委員会 谷口 敏弥】

【成年女子決勝】

札幌選抜 90－62 函館選抜

1P 23－17 2P 19－5

3P 20－34 4P 28－6

スターティングメンバーは、札幌⑤⑩⑫⑯⑰、函館⑧⑬⑭⑮⑰。両チーム共にマンツーマンディフェンスでゲームが始まった。

1P、函館選抜⑯菅原の3Pシュートでゲームが動く。序盤は両チームの持ち味が発揮されシーソーゲームとなる。札幌選抜は⑯大鷹が要所で得点し、函館選抜は⑮境藤の3Pシュートが決まり、23－17の札幌選抜6点リードで終了。

2P札幌選抜が優位にゲームを進める。函館選抜がターンオーバーが多く苦しむ。両チーム共に得点が入らない時間があったものの、札幌選抜⑰福士の活躍もあり、42－22とリードを広げて前半を終了。

3P、函館選抜が一気に流れをつかみ、⑮境藤の3連続3Pシュートをはじめ、⑫矢農⑰輪島の得点で追いついて点差を縮める。札幌選抜のリードも6点となり、62－56で終了。

4P、札幌選抜も⑫五十嵐が起点となり流れをにぎる。⑫五十嵐が次々と得点し、⑯大鷹も要所で得点にからみ、更にリードをひろげ、そのまま札幌選抜が逃げ切り優勝をはたした。好プレイが多かった決勝戦。両チームに拍手を送りたい。

【道バスケ協会 強化普及委員会 山田 秀剛】

【少年男子決勝】

札幌選抜 122-104 旭川選抜

1P 31-26 2P 23-24

3P 34-21 4P 34-33

1P、両チームともマンツーマンでスタート。旭川選抜はドライブと3Pシュートでリズムを掴み、開始3分で15-4とリードする。しかし、高さに勝る札幌選抜はリバウンドを確実に押さえ、7分で18-17と逆転する。その後は一進一退の攻防となり、札幌選抜の5点リードで終了

2P、旭川選抜は札幌選抜の高さを怖れず、果敢にドライブをして得点を重ねる。対する札幌選抜は力強い1対1を中心にオフENSEを組み立てる。均衡した展開が続くが、終了直前に旭川選抜⑥荒川が3Pシュートを沈め、54-50の札幌選抜リードで折り返す。

3P、後半開始直後、旭川選抜は3Pシュート2本で同点に追いつき、2分半で58-57と逆転する。このまま流れを掴みたい旭川選抜だが、札幌選抜⑦増田のカバーディフェンスの前にドライブを止められてしまう。ゴール下を掌握した札幌選抜はオフENSEもリズムを掴み、⑭須田⑮西川を中心に徐々に点差を離していく。88-71の札幌選抜リードで終了。

4P、札幌選抜はリバウンドからの速攻で得点を重ねていく。対する旭川選抜は3Pシュートとドライブで必死に食い下がるがなかなか点差は縮まらない。旭川選抜は残り30秒を切ってから3Pシュート2本を決める粘りを見せるが、④佐藤を中心に最後まで冷静にゲームをコントロールした札幌選抜が122-104で勝利をおさめた。

【道バスケ協会 強化普及委員会 清水 覚大】

【少年女子決勝】

札幌選抜 96-57 函大柏稜高校

1P 21-15 2P 25-6

3P 25-12 4P 25-24

両チームともマンツーマンdefでゲームがはじまる。

1P、出だしは函館が⑦の高さを活かしゴール下にボールを集め7-2とリードして始まった。お互いに激しくリバウンドを争うが、両チーム共にパスミスなどでリズムを掴みきれずに1Pの終盤を迎える。札幌選抜は⑫がdefで頑張り、連続ポイントで逆転に成功。

2P、札幌選抜が函館インサイドのオフENSEを厳しいディフェンスで守り、速攻につなげるようになる。函館⑦のファールトラブルもあり、点差が一気に広がり終了。

3P、札幌選抜はスタートメンバーを代え始めると、スピーディーなゲーム展開となり、開始3分で53-23と大量リードを奪う。

4P、函館も④の連続ポイントなどで粘りをみせるが、選手層も厚く、攻守に優る札幌選抜が96-57で優勝を決めた。

【道バスケ協会 強化普及委員会 矢萩 尚】